

社会福祉施設等施設整備費国庫補助金の予算確保について

奈良県における取組

【担当省庁】厚生労働省

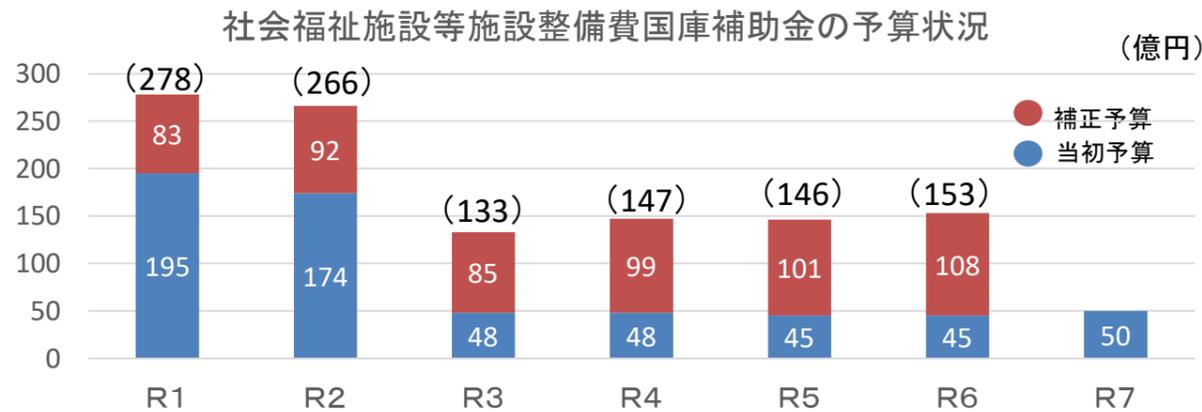


社会福祉施設等施設整備費国庫補助金について、当初予算の確保にご尽力いただき、感謝申し上げます。

① 国における予算状況

障害者の社会参加や地域生活を支援し、グループホーム等の各種社会福祉施設の整備を促進するため、従来より社会福祉施設等施設整備費国庫補助金(以下、「当該補助金」という)を予算確保していただいているところ。

当該補助金については、令和3年度以降、当初予算が大幅に減少し、奈良県においても、施設整備の要望が累積している状況。



② 奈良県における県への申請、国への協議の状況

当該補助金については、事業者からの申請内容を県が精査し、必要かつ最低限の内容に絞ったうえで国へ協議し、同時に県負担分とともに各年度の当初予算案に計上しているが、令和3年度以降は国の採択件数、額ともに低い状況が続いており、**必要な施設整備が進んでいない**。

当初予算における奈良県の状況

年度	①県への補助申請 (うち国庫補助額)		②(当初予算における) 国への補助協議		③(当初予算における) 国による採択	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R3	5	117,803	5	117,803	1	2,500
R4	7	212,673	5	89,235	2	45,578
R5	10	300,842	1	76,266	1	76,266
R6	9	355,654	2	44,132	2	44,132
R7	7	296,575	2	75,510	-	-

③ 奈良県において今後必要な施設整備

奈良県では、令和7年度からの県障害者計画の策定にあたり、令和6年度に県民アンケートや障害者団体へのヒアリング、パブリックコメント等を実施し、障害福祉に関する県民からの意見を把握したところ。

意見の中には、「住まいの確保」に関する要望なども多く含まれており、親の高齢化が進む中で、特に重度障害者の居場所づくりを求める声が多い。

＜主な意見＞

- ・グループホームや障害者入所施設が少ない。今後の住まいに不安がある。
- ・重度障害者のグループホームが必要。盲ろう者用のグループホームがほしい。
- ・グループホームは増えているが、軽度障害者しか入れない所が多い。
- ・親亡き後に不安がある。

また、本県では、重度障害者が利用できるグループホームが少なく、地域的にも偏在している状況。

類型	県内合計				
	事業所数	介護サービス 包括型	外部サービス 利用型	日中サービス 支援型	うち 南和圏域
GH	192	166	4	25 (50住居)	0
	定員(人)	2,820	2,192	494	0

こういった現状や県民からの意見を踏まえ、新たな県障害者計画においても「グループホームの整備促進」を掲げ、重度障害者の居場所づくりに取り組んでいきたいと考えているところ。

具体的には、重度心身障害児者や医療的ケア児者等の重度障害者の受け入れ先の確保などの支援を強化していくとともに、そのような重度障害者向けの施設整備が進むよう、県における補助金審査においても、優先的に整備できるよう検討していく予定。

国にお願いすること

- 引き続き、地域における障害者のサービス利用ニーズに応えられるよう、基盤となる障害福祉施設の整備をより推進するために、社会福祉施設等施設整備費国庫補助金について、**必要な予算の確保**をお願いします。
- 十分な工期が確保できるよう、(明許繰越ありきの補正予算ではなく、) **当初予算**での確保をお願いします。
- 補助対象の選定にあたっては、本県の事情も考慮いただき、**重度障害者向けのグループホームの創設**について優先的に採択いただきたい。

【県担当部局】 福祉医療部障害福祉課